

## 正組合員向けアンケート

- 実施期間：令和6年1月
- 実施方法：正組合員（認定農業者等）へ経済部職員が個別訪問し回答を得ました。
- 回収枚数：配布46枚、回収46枚（回収率100%）
- 評価方法：5段階評価（5:満足、4:やや満足、3:普通、2:やや不満、1:不満）

| 属性    |         |        |     | 生産作物 |   |    |     |     |    |     |    |      |  |
|-------|---------|--------|-----|------|---|----|-----|-----|----|-----|----|------|--|
| 認定農業者 | 地域担い手農家 | 直売所出荷者 | その他 | 米    | 麦 | 大豆 | トマト | いちご | 園芸 | 肉用牛 | 酪農 | その他※ |  |
| 15    | 15      | 17     | 2   | 31   | 2 | 8  | 9   | 2   | 10 | 2   | 0  | 5    |  |

（※玉ねぎ、菊芋 ほか）

| 年齢   |      |      |      |      |      |     |  | 性別 |    |    | 居住地  |     |     |
|------|------|------|------|------|------|-----|--|----|----|----|------|-----|-----|
| 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | その他 |  | 男性 | 女性 | 法人 | 多治見市 | 瑞浪市 | 土岐市 |
| 1    | 2    | 2    | 5    | 7    | 27   | 2   |  | 37 | 5  | 5  | 8    | 31  | 7   |

## I 農業者の所得増大の実現

### 1. 水稲農家の販売量を増やす取り組み

多収性品種への転換推進による売上増加を目標に、現地圃場で「にじのきらめき」の青空教室を開催し、また、「米づくり研修会」では問題となっている高温障害について研修会を開催するなどの転換推進を行いました。

(1) 営農組合等や担い手農家を中心に多収性品種への転換推進を行い、面積増加を行います。令和5年度は、「にじのきらめき」の転換推進を行いました。

■転換面積

| 計画     | 実績     |
|--------|--------|
| 12.5ha | 13.6ha |



(2) 営農組合等や担い手農家と情報交換等を行うために訪問活動を行っています。

■訪問回数

| 計画   | 実績   |
|------|------|
| 360回 | 422回 |



(3) 多収性品種「にじのきらめき」を普及するために、全農岐阜、東濃農林事務所の協力を得て瑞浪市と多治見市の圃場で青空教室を実施しました。

■開催回数

| 計画 | 実績 |
|----|----|
| 2回 | 4回 |



(4) 営農組合等や担い手農家を対象に、「米づくり研修会」を実施しました。瑞浪地区と多治見地区で研修会を予定していましたが、合同で開催したため実績は1回となりました。

■開催回数

| 計画 | 実績 |
|----|----|
| 2回 | 1回 |



### 2. 水稲農家の販売価格を上げる取り組み

水稲農家の所得増大を目的に、出荷契約者から直接買取の数量を昨年より増加させるために、生育調査や土壌診断・食味検査をするなど数量の増加、品質の向上に繋がる活動を行いました。

(1) 水稲農家の所得増大を目的に買取数量の増加に取り組みました。

■買取数量

| 計画     | 実績     |
|--------|--------|
| 3,250俵 | 3,319俵 |



(2) 水稲の収量増加と品質向上のために、営農組合、担い手先の圃場で、「にじのきらめき」を中心に生育調査を行いました。

■調査件数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 64件 | 96件 |



(3) 土壌診断による肥料負担の軽減、食味検査による品質向上の提案を行っています。

■診断回数

| 計画   | 実績   |
|------|------|
| 140件 | 140件 |



(4) 水稲農家の所得増大を目的に、直接買取先の増加を図っています。

■買取先数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 25件 | 35件 |



### 3. 農家の資材価格を減らす取り組み 共同注文や早期納品の実施により資材価格の低減に取り組みます。

(1) 水稲農家からの共同注文、早期納品を実施することで価格低減を図っています。

■予約数量

| 計画     | 実績     |
|--------|--------|
| 6,900袋 | 6,913袋 |



(2) 肥料予約注文の維持拡大により資材価格を減らす取り組みを行いました。令和5年度の主な取り組みとして、注文書と大幅改訂と園芸だけの予約注文書を作成し、水稲農家以外の園芸農家や一般の方にもPRを行い、予約注文の件数の増加を目指しました。

■注文件数

| 計画   | 実績     |
|------|--------|
| 974件 | 1,182件 |



(3) 家庭用園芸を普及することを目的に、園芸塾を開催します。令和6年2月に各店舗（3店舗）にて開催予定です。

■開催回数

| 計画 | 実績 |
|----|----|
| 3回 | 3回 |



(4) 営農組合、担い手農家、一般農家に肥料・園芸の注文書を配付しました。令和5年度の主な取り組みとして、水稲農家を中心とした改良組合員の他、出荷者協議会の会員や貸農園の登録者等一般の方々にも配付しました。

■配付冊数

| 計画     | 実績     |
|--------|--------|
| 2,696冊 | 2,788冊 |



## 4. 次世代担い手の育成支援の取り組み 次世代総点検運動を通じて、地域農業の担い手を確保するために高齢者との対話や、新規就農者の育成を支援することに取り組みます。

(1) 水稲の離農見込先と新規就農者を訪問し、次世代活動総点検運動の実践により担い手先の確保と所得増大を図るための訪問を行いました。

■訪問先数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 13先 | 13先 |



(2) 次世代総点検運動実施のための方針計画・進捗状況・行動展開を中央会と共有し達成に向けた会議を開催しています。

■会議開催数

| 計画 | 実績 |
|----|----|
| 2回 | 1回 |



(3) 3市再生協の事業（地域計画）とJAとうと（次世代総点検運動）が連携するために情報交換などの会議を実施しています。

■会議開催数

| 計画 | 実績 |
|----|----|
| 6回 | 6回 |



(4) 水稲農家の離農見込先と園芸農家を対象に、将来方針など意向調査を実施しました。令和5年度の主な取り組みとして、園芸農家11先と水稲の離農見込先10先を訪問し、ヒアリングにより聞き取りを実施しました。

■訪問件数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 21先 | 21先 |



(5) 各市再生協、東濃農林事務所と協力し、新規就農者の支援・相談・情報提供するための訪問活動を実施しています。令和5年度の主な取り組みとして、新規就農者の3人に対して訪問活動を行い、情報提供や相談等を受けました。

■訪問件数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 12回 | 12回 |



## II 「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献

### 5. 地域の食と農をつなぐ地産地消の促進 地産地消の促進による県産米の供給増加を目標とします。

(1) 地域活性化への貢献を目的に県産米の供給に取り組みます。

■取扱数量

| 計画     | 実績     |
|--------|--------|
| 5,335俵 | 6,146俵 |



(2) 飲食店等の業務用産米の推進チラシを作成し推進します。

■推進軒数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 80件 | 80件 |



(3) 予約玄米・精米の申込者の増加に取り組みます。令和5年度の主な取り組みとして、予約品種にハツモを加えて、申込者数の増加を目指しました。

■増加先数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 15先 | 48先 |



(4) 地場産米を販売するための実績検討会議を行います。

■会議回数

| 計画  | 実績  |
|-----|-----|
| 12回 | 12回 |



(5) 地場産米のイベントを企画しPRします。

■開催回数

| 計画 | 実績  |
|----|-----|
| 9回 | 11回 |



(6) LINEで地場産米をPRし、販売増加に繋がります。

■配信回数

| 計画 | 実績 |
|----|----|
| 9回 | 9回 |



# アンケート

令和5年度の当JAの取り組みについて、正組合員・准組合員の皆さまを対象にアンケートを実施させていただきましたので、結果をご報告させていただきます。

## 准組合員アンケート

- 実施期間：令和5年12月
- 実施方法：准組合員先への当JA渉外担当者による個別訪問
- 回収枚数：配布386、回収386（回収率100%）
- 説明資料：広報誌vol.53（2023年8月号）、JAとうと満足度・期待度アンケート資料
- 評価方法：5段階評価（5:満足・期待する、4:やや満足・やや期待する、3:普通、2:やや不満・あまり期待しない、1:不満・期待しない）

| 性別  |     |     |
|-----|-----|-----|
| 男性  | 女性  | 無回答 |
| 140 | 241 | 5   |

| 居住地  |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|
| 多治見市 | 瑞浪市 | 土岐市 | 無回答 |
| 145  | 84  | 157 | 0   |

| 年齢   |      |      |      |      |      |     |  |
|------|------|------|------|------|------|-----|--|
| 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 無回答 |  |
| 10   | 23   | 25   | 52   | 90   | 185  | 1   |  |

| 取引 ※複数回答可 |    |     |     |      |     |  |
|-----------|----|-----|-----|------|-----|--|
| 貯金        | 融資 | 共済  | 年金  | 購買取引 | その他 |  |
| 377       | 45 | 297 | 169 | 20   | 1   |  |

## I 自己改革の取り組みについて

### 食と農の大切さを伝える「JA食農教育活動」の実践

米づくり、さつまいも収穫体験、出前授業などを行い、未来を担う子供たちに農業の体験機会を提供しています。また、地元産農畜産物を学校給食に取り入れ、子供たちに食と農業の大切さを伝える取り組みをすすめています。

### 地域の食と農をつなぐ地産地消の取り組み

地場産米のPRや販売促進を行うなど、地域で生産されている農畜産物を地域の皆さまに消費していただく「地産地消」を促進して、地域の食と農をつなぐ取り組みを進めています。

### 広報活動を通じた情報発信

地元の農業情報や地域のイベント情報、JAの事業活動報告をホームページ・広報誌「JAとうと」にて発信しています。また、マスメディア（新聞・テレビ等）を活用して、食農教育活動にかかる情報発信を行っています。

### 支店協同活動による地域の活性化

組合員や地域住民にとって最も身近な支店を活動拠点として、地域イベント・各種ボランティア活動へ役職員が積極的に参加しています。



### 複数事業取引を通じた「くらし」の向上

高齢化社会に対応した介護支援（「JAとうと在宅介護サービスセンター」）等をはじめ、組合員・利用者の生活に必要な機能・サービスの提供の拡大を図り、JA事業（信用・共済・営農経済・営農指導・不動産など）の複数取引を通じて生活インフラ機能を発揮できるよう努めています。

### 各種無料相談機能の強化

農業相談・資産運用・相続・法律・税務・年金等、各種無料相談会を開催し、組合員ならびに地域の皆さまのあらゆる相談に対応するための機能強化に努めています。

### 地域貢献への積極的な参加

地元3市（多治見市、瑞浪市、土岐市）への寄付や、公共福祉施設への新米寄贈、学生食堂・子ども食堂の支援など、地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員ならびに地域の皆さまが、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに取り組んでいます。

### 組合員との対話と地域農業振興の応援団の取り組み

組合員の声を聴く取り組み（対話運動）を進めるとともに、准組合員の皆さま方を「地域農業振興の応援団」と位置づけ、JAとうとの事業を利用していただくことや様々な活動に参加していただくことを進めています。



## II その他について

職員のお宅への訪問について、ご満足いただいていますか。

支店および経済店舗へご来店いただいた際の挨拶や対応等について、ご満足いただいていますか。

当JAの事業内容、活動内容、対応等について、ご満足いただいていますか。

年2回（1月・8月）発行しております「JAとうと広報誌」の掲載内容について、ご満足いただいていますか。

